

令和4年

# 火災・救急の概況

火 災

33件

大洲市 23件  
内子町 10件

救 急

3,447件

大洲市 2,574件  
内子町 869件  
管轄外 4件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】



# 火災の概況

## 1 火災概要（1表）

令和4年中に組合管内で発生した火災は33件で、建物焼損棟数20棟、建物焼損床面積2,427㎡、死者数2人、負傷者数4人、り災世帯数10世帯、り災人員20人、損害額93,913千円である。

前年と比較すると、死者数は1人減少している。出火件数については4件増加、焼損棟数は26棟減少、建物焼損床面積は510㎡増加、り災世帯数は12世帯減少、り災人員は27人減少、損害額は27,205千円増加している。

## 2 出火件数

出火件数は33件で、前年と比べて4件増加しており、1ヶ月あたり2.75件の割合で火災が発生している。

### (1) 市町別出火件数（2・3表）

市町別出火件数は、大洲市23件（内訳：大洲14件、長浜8件、肱川0件、河辺1件）、内子町10件（内訳：内子6件、五十崎1件、小田3件）である。

### (2) 火災種別（2・4・10表）

火災種別にみると、建物火災が14件（全火災の約42.4%）で最も多く、その他の火災が12件（約36.4%）、林野火災が6件（約18.2%）、車両火災が1件（約3.0%）である。

なお、建物火災14件を用途別にみると、住宅が7件、作業場・工場が3件、倉庫が2件、共同住宅が1件、その他が1件である。

### (3) 四季別出火件数（5表）

四季別出火件数は、春季における火災が13件、夏季が8件、冬季が7件、秋季が5件の順となっている。

## 3 出火率（6表）

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は5.89件であり、令和3年と比べると0.81件増加している。

## 4 損害額（1・7表）

損害額は、93,913千円で前年より27,205千円増加している。内訳は、建物の損害額が大半を占めている。また、1件あたりの損害額は、約2,846千円であり、前年の2,300千円と比較すると546千円増加している。

## 5 出火原因（8表）

出火原因別にみると、出火件数33件（内4件調査中）のうち、「枯草焼き」が6件で最も多い。次いで「不明」が5件、「たき火」が3件、「火のついたゴミ」、「たばこ」が各2件。その他の原因が各1件である。

## 6 初期消火対応（9表）

出火件数33件のうち初期消火を試みたものは24件あり、このうち初期消火の効果があつた火災は11件である。

また、消火器具別に効果のあつたものは、「水道、浴槽等の水をかけた」が6件、「寝具、衣類等をかけた」が1件、「その他」が4件である。

## 7 死傷者（1・11表）

死傷者は、建物火災による死者が2人で、前年に比べ1人減少している。また、負傷者は1人減少し4人である。

## 8 まとめ

以上、令和4年中の火災概況であるが、昨年と比較すると出火件数が増えており、特に、「枯草焼き」や「たき火」による出火原因が多い。このことから、屋外での火気の取扱いにおいて注意が不十分であつたことが考えられる。

住民に対しては、枯草焼きやたき火を行う際の消火用具の準備や、風の強い日や空気が乾燥している日には、より一層注意をすることを強く呼びかける必要がある。

建物火災については、例年、火災種別の中で最も多い。住宅火災による死傷者の低減や被害の軽減を図るため、効果的な初期消火を実施しなければならないが、初期消火を試みた24件のうち、効果があつたのは半数以下の11件である。効果的な初期消火を行うためにも、各地域における自主防災組織等の協力を得て、住民を主体とした防火講習会や防災訓練等を行い、防火意識の更なる高揚を図るとともに、住宅用火災警報器の設置、維持管理を強く呼びかけていく必要がある。

※ 数値については、速報値です。

# 1表 火災の概況

区 分	単位	令和4年	令和3年	増減数
出 火 件 数	件	33	29	4
建 物	〃	14	17	▲ 3
林 野	〃	6	5	1
車 両	〃	1	2	▲ 1
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	12	5	7
焼 損 棟 数	棟	20	46	▲ 26
全 焼	〃	10	20	▲ 10
半 焼	〃	2	0	2
部 分 焼	〃	3	20	▲ 17
ぼ や	〃	5	6	▲ 1
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	2,427	1,917	510
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	25	223	▲ 198
林野焼損面積	a	28	88	▲ 60
死 者	人	2	3	▲ 1
負 傷 者	〃	4	5	▲ 1
30日死者	〃	0	0	0
り 災 世 帯 数	世帯	10	22	▲ 12
全 損	〃	4	3	1
半 損	〃	1	2	▲ 1
小 損	〃	5	17	▲ 12
り 災 人 員	人	20	47	▲ 27
損 害 額	千円	93,913	66,708	27,205
建 物	〃	89,909	65,733	24,176
林 野	〃	3	557	▲ 554
車 両	〃	1,998	318	1,680
船 舶	〃	0	0	0
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	2,003	100	1,903
爆発損害額	千円	0	0	0

※ ▲は減

2表 市町別火災状況

区分 市町別	火災種別						焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額 (千円)	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	30日死者			総額	うち建物損害
大洲	14	4	3	0	0	7	80	12	12	0	1	0	4	2	6,052	6,019
長浜	8	3	1	1	0	3	1,569	0	2	0	1	0	3	2	72,507	69,666
肱川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河辺	1	0	1	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	76	0
小計	23	7	5	1	0	10	1,649	12	25	0	2	0	7	4	78,635	75,685
内子	6	4	1	0	0	1	471	12	3	1	2	0	7	5	10,820	10,115
五十崎	1	1	0	0	0	0	258	1	0	1	0	0	3	1	3,704	3,593
小田	3	2	0	0	0	1	49	0	0	0	0	0	3	0	754	516
小計	10	7	1	0	0	2	778	13	3	2	2	0	13	6	15,278	14,224
合計	33	14	6	1	0	12	2,427	25	28	2	4	0	20	10	93,913	89,909

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和4年	大洲	1		3	3	2	2	2			1		14
	長浜			1	2		1	2			1	1	8
	肱川												0
	河辺	1											1
	内子	2		1	1		1					1	6
	五十崎									1			1
	小田	1								1	1		3
合計	5	0	5	6	2	0	4	4	0	2	3	2	33

年別・市町別	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
令和3年	大洲	1	1		2	1	2			1	2	1	11
	長浜	2				1	1		1	1			6
	肱川			1									1
	河辺												0
	内子		2		1		1						4
	五十崎		3				1	1	1				6
	小田	1											1
合計	4	6	1	3	2	4	1	1	2	2	2	1	29

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	令和4年	令和3年
建 物 火 災	42.4	80.0
林 野 火 災	18.2	8.0
車 両 火 災	3.0	0.0
船 舶 火 災	0.0	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	36.4	12.0
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	令和4年				令和3年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	13	39.4	72,179	76.9	6	20.7	6,095	9.1
夏 季 6月～8月	8	24.2	11,562	12.3	6	20.7	5,042	7.6
秋 季 9月～11月	5	15.2	4,458	4.7	6	20.7	26,785	40.1
冬 季 12月～2月	7	21.2	5,714	6.1	11	37.9	28,786	43.2
合 計	33	100.0	93,913	100.0	29	100.0	66,708	100.0

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減数	
		令和4年	令和3年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	5.89	5.08	0.81	
	出 火 件 数	33	29	4	
	うち建物火災	14	17	▲ 3	
	人 口	55,986	57,058	▲ 1,072	
	世 帯 数	26,694	26,817	▲ 123	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	4.32	3.35	0.97
		出 火 件 数	14	11	3
		うち建物火災	4	8	▲ 4
		人 口	32,420	32,877	▲ 457
		世 帯 数	15,473	15,472	1
	長 浜	出 火 率	13.88	10.08	3.80
		出 火 件 数	8	6	2
		うち建物火災	3	3	0
		人 口	5,763	5,953	▲ 190
		世 帯 数	2,971	3,027	▲ 56
	肱 川	出 火 率	0	5.30	▲ 5.30
		出 火 件 数	0	1	▲ 1
		うち建物火災	0	0	0
		人 口	1,839	1,886	▲ 47
		世 帯 数	888	895	▲ 7
	河 辺	出 火 率	17.92	0	17.92
		出 火 件 数	1	0	1
		うち建物火災	0	0	0
		人 口	558	584	▲ 26
		世 帯 数	341	350	▲ 9
内 子 町	内 子	出 火 率	7.04	4.59	2.45
		出 火 件 数	6	4	2
		うち建物火災	4	1	3
		人 口	8,520	8,722	▲ 202
		世 帯 数	3,877	3,881	▲ 4
	五 十 崎	出 火 率	2.02	11.96	▲ 9.94
		出 火 件 数	1	6	▲ 5
		うち建物火災	1	4	▲ 3
		人 口	4,945	5,015	▲ 70
		世 帯 数	2,117	2,140	▲ 23
	小 田	出 火 率	15.46	4.95	10.51
		出 火 件 数	3	1	2
		うち建物火災	2	1	1
人 口		1,941	2,021	▲ 80	
	世 帯 数	1,027	1,052	▲ 25	

※ ▲は減

※ 人口は各年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。



7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損害額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成25年	31	23,913	771
平成26年	27	33,803	1,252
平成27年	26	21,300	819
平成28年	24	30,829	1,285
平成29年	27	53,243	1,972
平成30年	26	38,349	1,475
令和元年	14	29,927	2,138
令和2年	25	67,661	2,706
令和3年	29	66,708	2,300
令和4年	33	93,913	2,846

8表 出火原因別件数及び損害額

区分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
枯草焼き	6	18.18	5	0.01
たき火	3	9.09	0	0.00
火のついたゴミ	2	6.06	104	0.11
たばこ	2	6.06	7	0.01
簡易型ガスコンロ	1	3.03	4	0.01
その他の火の粉	1	3.03	0	0.00
その他の高温の個体	1	3.03	611	0.65
燃えさし	1	3.03	95	0.10
ガステーブル	1	3.03	28	0.03
固定煙突の火の粉	1	3.03	0	0.00
車体等の衝突火花	1	3.03	1,393	1.48
煙突	1	3.03	641	0.68
防犯灯	1	3.03	2	0.01
再燃	1	3.03	0	0.00
線香	1	3.03	754	0.80
放火の疑い	1	3.03	0	0.00
不明	5	15.15	81,542	86.82
調査中	3	9.09	8,727	9.28
合計	33	100.00	93,913	100.00

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

### 9表 初期消火の対応状況

効果	消火器具別				合計
	水道、浴槽等の水をかけた	消火器	寝具、衣類等をかけた	その他	
効果有	6	0	1	4	11
効果無	5	4	0	4	13

### 10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年別	住宅 (併用含む)	作業場 工場	倉庫 納屋 物置	共同住宅	養護老人 ホーム	宿泊施設	飲食店	その他	合計
令和4年	7	3	2	1	0	0	0	1	14
令和3年	4	3	3	0	1	1	1	4	17

### 11表 死傷者の区分

区分	死者	負傷者	30日死者
消防吏員	0	0	0
消防団員	0	0	0
応急消火義務者	2	3	0
消防協力者	0	1	0
その他の者	0	0	0
合計	2	4	0

※ 30日死者とは、火災による負傷後48時間以上30日以内の死者。

次のページから救急の概況

## 救急車は地域を守る セーフティネット



### 全国救急受診アプリ「Q助」

消防庁では、住民による緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受信手段の情報を提供するため全国版救急受診アプリ（愛称「Q助」）の提供を開始しました。

スマートフォン版（Apple、Google）、Web版があります。

[https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9\\_6/kyukyu\\_app.html](https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyu_app.html)

※スマートフォン版のダウンロード容量は2MBで、使用するときの通信料はかかりません。

## 令和4年の救急概況

### 1 救急業務状況（1表）

令和4年中における救急業務の実施状況は、出場件数3,447件（前年比360件増）、搬送人員3,248人（前年比319人増）であり、前年と比較して出場件数、搬送人員ともに増加している。

また、組合に配置している救急車6台すべてが高規格救急車であり、すべてに救急救命士が出動している。

### 2 事故種別救急概要（2・3表）

事故種別出場件数は、急病2,087件、その他（主に転院搬送）571件、一般負傷548件で出場件数の9割以上を占めている。前年と比較すると、急病288件、一般負傷43件、交通事故18件、その他16件、労働災害4件、加害1件、水難1件が増加しており、自損行為9件、運動競技1件、火災1件が減少している。

### 3 市町別救急業務状況（4表）

市町別救急件数は、大洲市が全体の74.7%（2,574件）、内子町が25.2%（869件）、管轄外が0.1%（4件）である。

内訳は、大洲2,020件、長浜398件、肱川114件、河辺42件、内子519件、五十崎220件、小田130件、管轄外4件である。

### 4 時間帯別救急状況（5表）

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯が午前8時から10時の間の530件であり、逆に少ない時間帯は、午前2時から4時の99件である。午前と午後で比較すると午前が1,584件、午後が1,863件と午後の方が件数が多い。

### 5 月別曜日別救急状況（6表）

月別の救急件数は、8月の359件が最も多く（前年は12月の294件）、最も少ない月は11月の244件（前年は6月の218件）である。

また、曜日別の救急件数は、月曜日の595件が最も多く（前年も月曜日の497件）、最も少ないのは木曜日の463件（前年は日曜日の410件）である。

## 6 応急処置状況（7表）

救急隊員が行った応急処置の状況は、血中酸素飽和度測定、血圧測定、その他の応急処置（検温等）、保温の処置が多い。

救急救命士が行う救急救命処置は、器具を使用した気道確保のうち、ラリゲアルマスク等を用いた気道確保40件、気管挿管6件を実施。心肺機能停止後の静脈路確保33件、うち薬剤投与を7件実施している。

また、平成28年6月1日から処置範囲が拡大された処置のうち、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は10件、血糖測定は26件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は4件である。

## 7 医療機関別搬送人員状況（8表）

収容医療機関の状況は、搬送人員の77.9%（2,529人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、99.6%（2,518人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は719人であり、その47.4%に当たる341人の事故種別はその他（主に転院搬送）によるものである。

## 8 市町別人口割救急出場状況（9表）

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当りの救急発生件数を比較すると、最も発生件数が高いのは河辺の75件、次いで長浜69件、小田67件、大洲、肱川が同件数で62件、内子61件であり、最も低いのは五十崎44件である。

## 9 高齢者事故種別搬送人員状況（10表）

高齢者（「年齢65歳以上の者」をいう。）に関する救急状況は、搬送人員2,390人で昨年に比べて243人増加しており、全搬送人員の73.6%を占めている。

また、事故種別でみると、急病1,473人、一般負傷418人、その他（主に転院搬送）412人の順であり、交通事故は72人と前年と比較し5人増加している。

## 10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況（11表）

高齢者における急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系の184人（12.5%）が最も多く、次いで消化系が167人（11.3%）、心疾患159人（10.8%）、脳疾患132人（9.0%）の順である。

## 1.1 まとめ

以上、令和4年中の救急概況であるが、令和元年以降減少傾向にあった救急出場件数については、3,447件と過去最多を記録し、前年と比較すると360件の増加となった。

特に、救急出場件数の事故種別で増加しているのは、急病が前年と比較し288件増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響が一つの要因であると考えられる。

救急出場件数は、時間帯では午後、月別件数は8月、曜日別件数は月曜日が多い状況であり、このことから、連日の猛暑により熱中症の危険が高まる季節や活動する時間帯等に救急要請が多くなっている。

また、搬送人員についても3,248人と前年と比較して319人増加し、高齢者が占める割合については73.6%と高い数値となっており、救急出場件数における高齢者の割合は、今後も増加することが予想される。

以上のことから、住民に対して救急車の適正利用について、救命講習会や広報媒体等を活用し呼びかけるとともに、一人でも多くの命が救えるよう救命率の向上に努めたい。

1表 年別救急業務状況

区分	出場件数						搬送人員					
	合計	大洲消防署本署	長浜支署	川上支署	内子消防署本署	小田出張所	合計	大洲消防署本署	長浜支署	川上支署	内子消防署本署	小田出張所
令和4年	3,447	1,945	399	221	741	141	3,248	1,845	375	209	690	129
令和3年	3,087	1,721	399	201	620	146	2,929	1,636	381	190	586	136
昨年比増減	360	224	0	20	121	▲5	319	209	▲6	19	104	▲7
							243	176	▲15	17	73	▲8

※ ▲は減

下段の数値は65歳以上

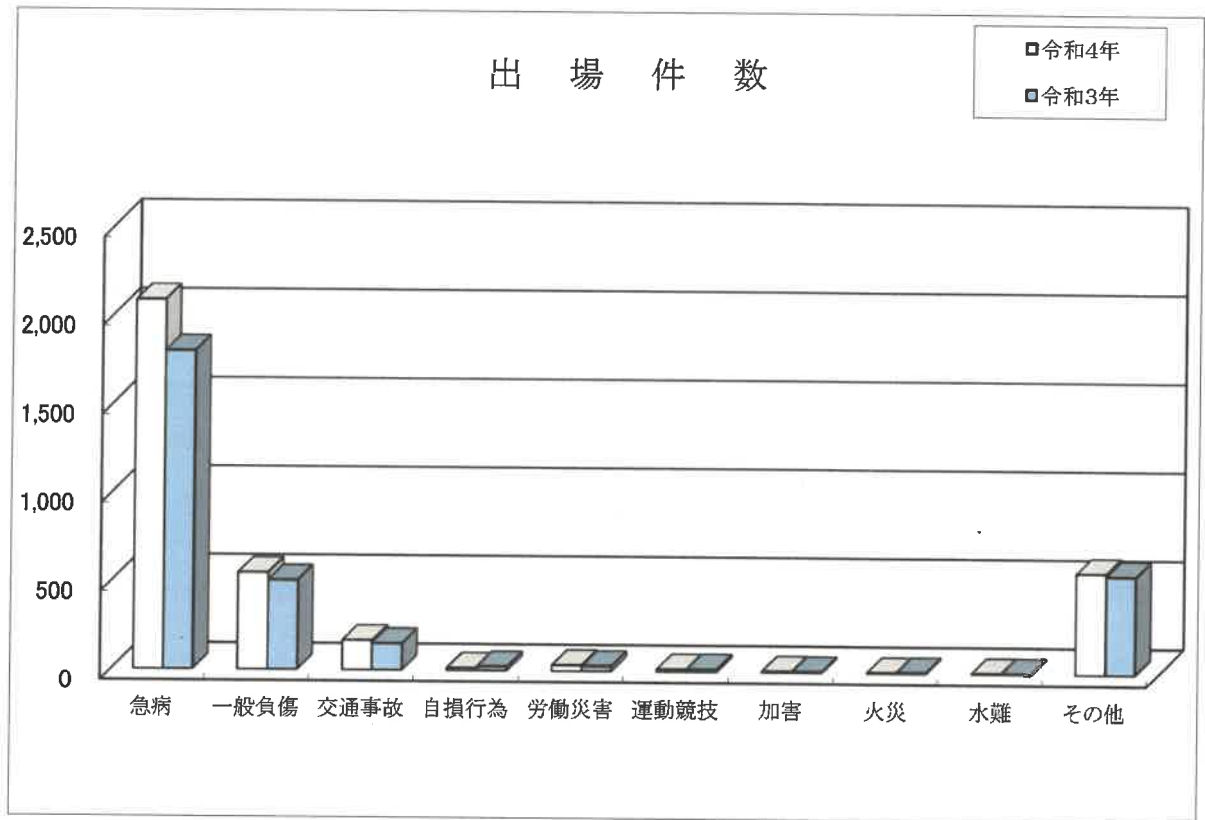
2表 事故種別の救急概要

区分 事故種別	令和4年																	
	組					合												
	出場件数		搬送人員		増減	大洲1		大洲2		長浜		川上		内子		小田		
	令和4年	令和3年	増減	令和4年		令和3年	増減	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	
急病	2,087	1,799	288	1,939	1,686	253	854	796	224	211	278	258	127	118	501	461	103	95
一般負傷	548	505	43	522	481	41	216	206	67	62	77	75	42	40	124	119	22	20
交通事故	167	149	18	165	145	20	66	62	20	22	16	18	7	8	50	47	8	8
自損行為	14	23	▲9	9	12	▲3	4	3	1	1	3	2	0	0	5	3	1	0
労働災害	33	29	4	30	28	2	14	12	4	4	3	3	3	2	7	7	2	2
運動競技	14	15	▲1	14	15	▲1	9	9	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0
加害	6	5	1	6	5	1	2	2	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0
火災	4	5	▲1	2	3	▲1	0	0	3	1	0	0	0	0	1	1	0	0
水難	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1
その他	571	555	16	560	553	7	276	271	183	180	19	18	41	41	48	47	4	3
合計	3,447	3,087	360	3,248	2,929	319	1,441	1,361	504	484	399	375	221	209	741	690	141	129

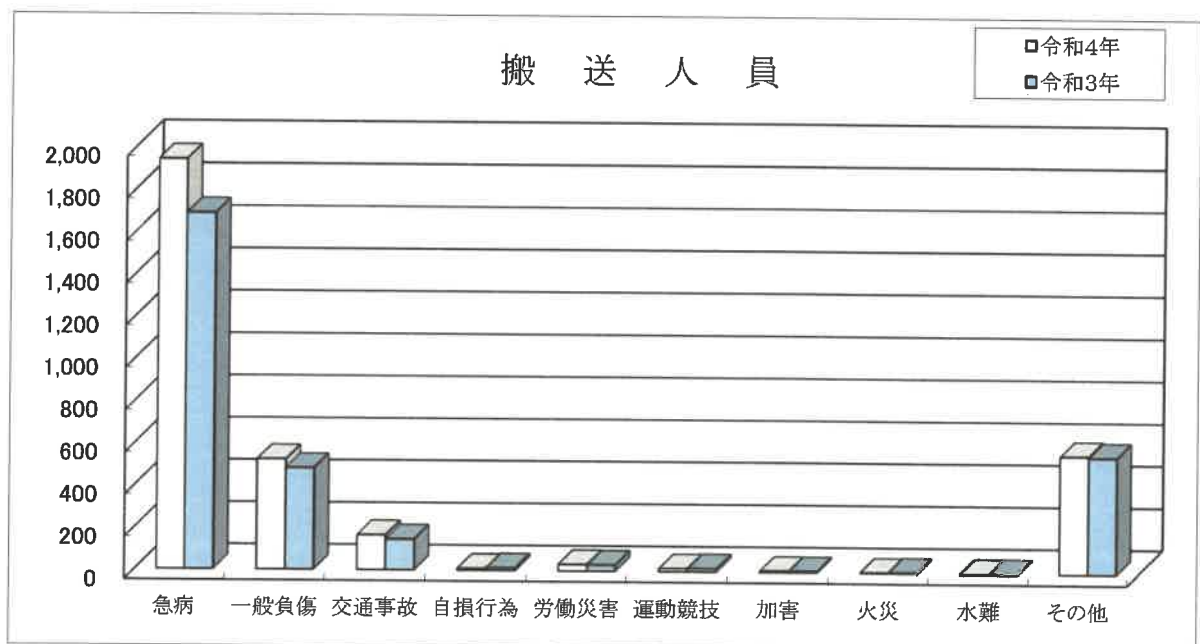
※ ▲は減



### 3表 事故種別出場件数・搬送人員



	急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	その他
令和4年	2,087	548	167	14	33	14	6	4	3	571
令和3年	1,799	505	149	23	29	15	5	5	2	555

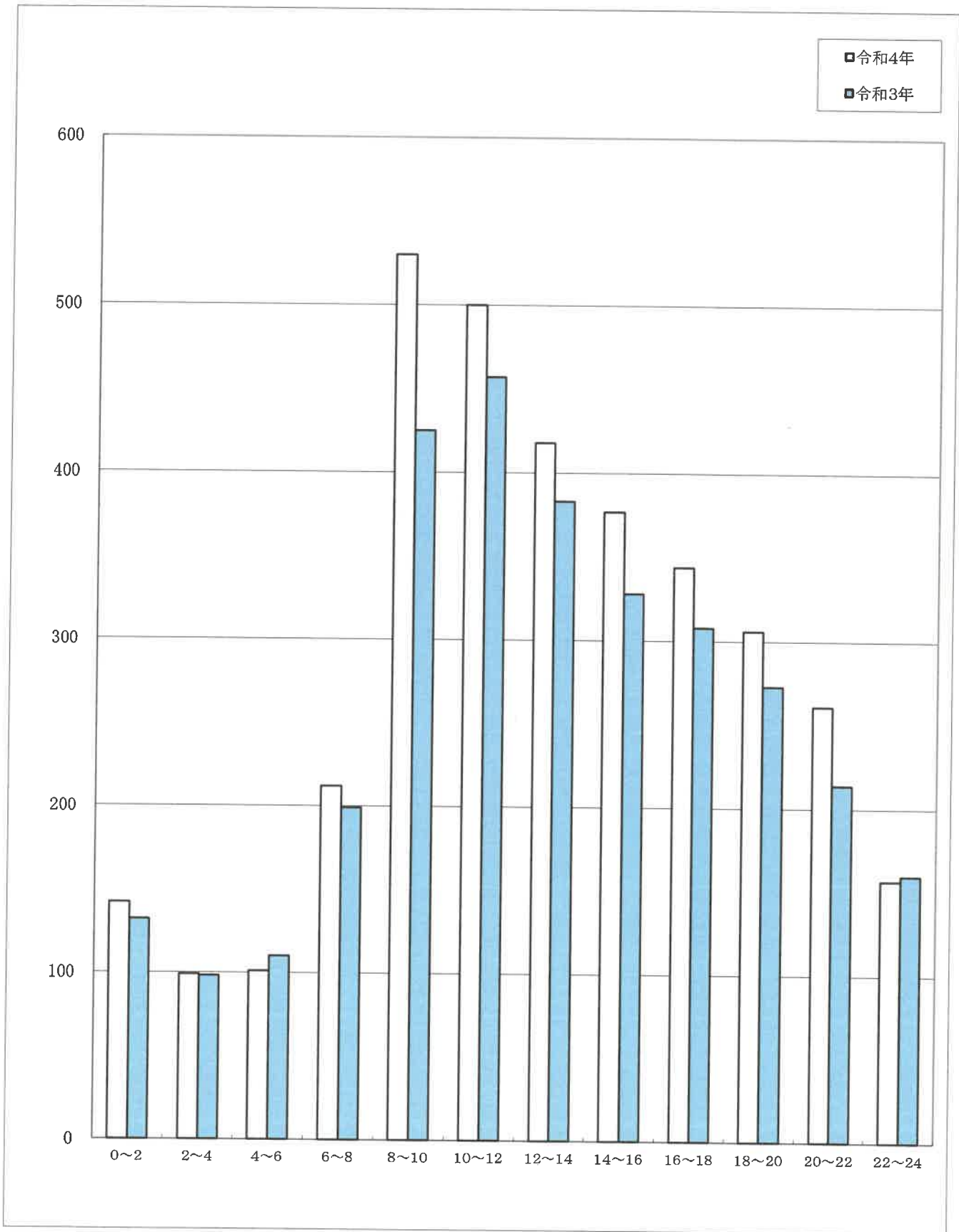


	急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	その他
令和4年	1,939	522	165	9	30	14	6	2	1	560
令和3年	1,686	481	145	12	28	15	5	3	1	553

### 4表 市町別救急業務状況

市町 事故種別	組合	大洲市				内子町			管轄外
		大洲	長浜	肱川	河辺	内子	五十崎	小田	
	出場件数 搬送人員	出場件数 搬送人員	出場件数 搬送人員	出場件数 搬送人員	出場件数 搬送人員	出場件数 搬送人員	出場件数 搬送人員	出場件数 搬送人員	
急病	2,087	1,103	274	84	23	351	156	95	1
	1,939	1,028	254	79	21	325	145	86	1
一般負傷	548	291	77	23	12	82	41	22	0
	522	272	76	22	12	80	40	20	0
交通事故	167	89	19	4	3	30	11	9	2
	165	89	22	4	3	29	10	8	0
自損行為	14	5	3	0	0	3	2	1	0
	9	4	2	0	0	1	2	0	0
労働災害	33	16	4	2	2	6	2	1	0
	30	15	4	1	1	6	2	1	0
運動競技	14	7	0	0	0	5	2	0	0
	14	7	0	0	0	5	2	0	0
加害	6	4	2	0	0	0	0	0	0
	6	5	1	0	0	0	0	0	0
火災	4	0	1	0	0	2	1	0	0
	2	0	1	0	0	1	0	0	0
水難	3	0	1	0	0	0	0	1	1
	1	0	0	0	0	0	0	1	0
その他	571	505	17	1	2	40	5	1	0
	560	497	16	1	2	39	5	0	0
合計	3,447	2,020	398	114	42	519	220	130	4
	3,248	1,917	376	107	39	486	206	116	1

5表 時間帯別救急出場件数



6表 月別曜日別救急出場状況

曜 日 月	日	月	火	水	木	金	土	合 計
1 月	34	49	51	40	42	30	43	289
2 月	35	42	34	34	33	42	35	255
3 月	36	39	38	55	32	48	39	287
4 月	30	46	36	31	26	41	43	253
5 月	52	62	52	21	34	33	22	276
6 月	35	47	40	46	34	33	31	266
7 月	51	45	38	44	34	47	45	304
8 月	47	69	59	47	48	45	44	359
9 月	38	56	41	27	46	48	45	301
1 0 月	52	34	27	39	38	28	46	264
1 1 月	30	44	36	36	32	27	39	244
1 2 月	40	62	33	46	64	46	58	349
合 計	480	595	485	466	463	468	490	3,447

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	
搬送人員 処置項目	1,939	165	522	622	3,248	
止血	8	19	68	7	102	
固定	38	73	196	44	351	
人工呼吸	27	0	7	1	35	
心マッサージ	27	1	4	1	33	
うち自動	20	1	3	1	25	
心肺蘇生	44	2	10	1	57	
うち自動	11	0	1	1	13	
酸素吸入	528	13	44	218	803	
気道確保	71	2	15	3	91	
うち経鼻	0	0	0	0	0	
うち異物除去	1	0	3	0	4	
うちラリソゲアルマスク等	33	1	5	1	40	
うち気管挿管	4	0	2	0	6	
保温	1,340	85	336	482	2,243	
被覆	3	33	76	11	123	
在宅療法継続	3	0	0	0	3	
点滴処置	1	0	0	0	1	
外傷処置	0	0	0	0	0	
その他	2	0	0	0	2	
除細動	4	0	1	0	5	
静脈路確保	心肺機能停止前	4	3	2	1	10
	心肺機能停止後	28	1	2	2	33
	ブドウ糖投与	4	0	0	0	4
血糖測定	26	0	0	0	26	
ブドウ糖溶液投与	4	0	0	0	4	
薬剤投与	7	0	0	0	7	
その他の応急処置	1,916	155	518	603	3,192	
血圧測定	1,869	161	507	616	3,153	
聴診器による聴取	301	19	41	26	387	
血中酸素飽和度測定	1,882	161	508	619	3,170	
心電図	624	14	44	167	849	
合計	8,758	742	2,379	2,802	14,681	

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
				うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外			
救急告示医療機関	国立	公立	3	3	1	1	3	3	29	29		36	36	
			717	220	63	15	206	71	221	166		1,207	472	
	公立	私病診療所	12	12							59	59	71	71
			1,163	1	96	2	303	2	230	4		1,792	9	
	公立	計	1,895	236	160	18	512	76	539	258		3,106	588	
			2	2	2	2					11	15	15	
	公立	計	27	27	3	3	8	8	66	66		104	104	
			3	3								3	3	
	私立	私病診療所	2	2			1	1	6	6		9	9	
			10				1					11		
公立	計	44	34	5	5	10	9	83	83		142	131		
		5	5	3	3	3	3	40	40		51	51		
公立	計	744	247	66	18	214	79	287	232		1,311	576		
		15	15							59	74	74		
私立	私病診療所	1,165	3	96	2	304	3	236	10		1,801	18		
		10				1					11			
計	計	1,939	270	165	23	522	85	622	341		3,248	719		
その他場所	計													
合計	計	1,939	270	165	23	522	85	622	341		3,248	719		

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市町	区分	人口 (人)	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	人口1,000人当りの発生件数(件)
大洲市	大洲	32,420	2,020	1,917	62
	長浜	5,763	398	376	69
	肱川	1,839	114	107	62
	河辺	558	42	39	75
内子町	内子	8,520	519	486	61
	五十崎	4,945	220	206	44
	小田	1,941	130	116	67
組合管内		55,986	3,443	3,247	61
管轄外			4	1	
合計			3,447	3,248	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市 町 区 分	事 故 種 別										合 計		
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病		そ の 他	
大 洲 市	大 洲	0	0	0	38	4	1	216	0	0	753	363	1,375
	長 浜	1	0	0	9	2	0	60	1	0	200	13	286
	肱 川	0	0	0	1	0	0	21	0	0	64	1	87
	河 辺	0	0	0	2	1	0	12	0	0	18	1	34
内 子 町	内 子	1	0	0	12	3	0	64	0	0	250	30	360
	五 十 崎	0	0	0	4	0	0	34	0	0	119	4	161
	小 田	0	0	1	6	0	0	11	0	0	69	0	87
その他(管轄外)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		2	0	1	72	10	1	418	1	0	1,473	412	2,390

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。



11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市町	疾病分類	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	合計
		大洲	58	69	87	95	7	46	29	17	345
長浜	26	28	24	26	3	1	11	6	75	200	
肱川	8	10	7	7	0	6	4	0	22	64	
河辺	1	2	2	1	0	0	1	1	10	18	
内子	18	28	26	32	0	8	15	3	120	250	
五十崎	13	14	14	15	0	5	4	1	53	119	
小田	8	8	7	8	0	1	5	1	31	69	
合計	132	159	167	184	10	67	69	29	656	1,473	

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。